

会議録（要点筆記）

会議名	平成28年度 第6回千郷地域協議会（公開）
開催日時	平成28年9月5日（月） 午後7時00分～午後9時00分
開催場所	西部公民館 多目的ホール
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 平成28年度地域自治区予算事業執行残額の使途について</p> <p>(2) 平成29年度地域自治区予算事業の積算結果について</p> <p>3 事務局連絡事項</p> <p>(1) 今後の流れについて</p> <p>4 閉会</p>
委員出席者	<p>滝川 健一・今泉 亮司・石河 悟 ・老平 良久・馬淵 紳行</p> <p>安形 典久・鶴見 龍男・村田 博徳・竹下 隆康・高野 文夫</p> <p>服部 峯夫・中村 高三・白井 幸隆・柿下 和久・西野 雄次</p> <p>古地 英明・杉下 尚由・老平 千昌・仲井敬太郎・鈴木 誠</p> <p>河邊 続子・山本 紀子・浅倉 芳包・長坂 好幸・藤田 一美</p>
欠席者	<p>4人</p> <p>加藤 重行 近藤 武・中野 享依・古瀬 剛</p>
事務局	<p>西村自治振興課長・田村千郷自治振興事務所長</p> <p>戸田主任・森田主事</p>
傍聴者数	0人
会議資料	<p>【資料1】H28予算残額執行検討表</p> <p>【資料2-1・2-2】地域自治区予算で検討するもの</p> <p>【資料3】行政区等自治活動備品（拠点整備・防災資機材等）整備方法</p> <p>【資料4】楽しく親子で防災ピクニック講座 企画書</p> <p>平成29年度千郷地域自治区予算事業積算結果一覧</p>

1 開会

会議成立の報告 : 25名の委員出席により会議成立
会議録署名者選任: 服部峯夫委員、中村高三委員

2 議事

- (1) 平成28年度地域自治区予算事業執行残額の使途について
事務局より【資料1】H28予算残額執行検討表を基に説明を行った。

【採決事項】

賛成多数により、下記の事業を追加実施事業計画案とする。

■自主防災組織防災活動援助事業

ワンタッチテント4台 : 432,000円

■交通安全施設整備事業

交通安全対策4箇所 : 394,000円

■地域集会施設活性化事業

木製ベンチ3台購入 : 200,000円

計 1,026,000円

- (2) 平成29年度地域自治区予算事業の積算結果について

■事務局より【資料2-1・2-2】地域自治区予算で検討するものを基に積算できない事業について報告した。

－意見－

(委員)

草刈機を持っていないので市道の草刈が地域ではできなくなってきた。地域自治区予算事業でできないか。

(事務局)

市の作業員での草刈作業が追い付いていない状況でボランティアをお願いをせざるを得ない状況です。また、草刈燃料の支給制度もありますのでこちらも活用していただきたいと思います。

(委員)

市では対応できなくて区に依頼するのであれば、きちんとしたルールを作った上で依頼してほしい。

(委員)

以前、市の担当部署にいたので参考にさせていただきたいと思うが県管

理の道路は年1回の予算を確保することが精一杯の状況。

県事業で県管理の河川や道路の草刈りを地域団体に委託する事業がある。

各地域で団体を組織し、この事業を申請し実施している。

市としては1級及び2級市道においても要望があれば対応するが、現状は予算が付きにくい状況です。地域の協力があって成り立っているのが現状だと思います。

(事務局)

地域活動交付金であれば草刈機の購入や保険代や替刃代、燃料代が対象となりますので活用していただきたい。

■【資料3】行政区等自治活動備品（拠点整備・防災資機材等）整備方法を基に、地域自治区予算の使途について説明を行った。

【資料】平成29年度千郷地域自治区予算事業積算結果一覧を基に積算結果について報告した。

【資料4】楽しく親子で防災ピクニック講座企画書を基に説明した。

－意見－

(委員)

7月意見交換会に参加した方へのフィードバックが必要ではないか。

(事務局)

協議会だよりなどを通じて回答していくような方法を考えていきたい。

(委員)

学校予算に全体予算の1/4近い金額が計上されているが、地域自治区予算で執行すべきものか。地域のことに使うべきことではないか。

(事務局)

担当課が予算確保することを前提に進めていく訳ですが、老朽化した教育施設の修繕などに優先的に予算計上され、備品等の予算確保が難しい状況です。

担当課予算で実施できればいいと思いますが、平等に整備する必要があり、順番はかなり後になります。地域で整備すべきかどうか判断していただく場がこの場になります。他の地域協議会では地域で子ども達を育てていこうという視点での予算であれば認めると判断しています。地域で考え、どう教育予算を地域自治区の中で扱っていくべき

か皆さんが考えています。

(委員)

教育予算に関して「地域の子ども達の成長のために」という視点を頭に入れていただきたい。区の代表という立場ではないので学校関連への予算を認めないのであれば、防災関係の予算は認めるとなるとなぜと思ってしまう。

(事務局)

地域自治区予算は市が実施する予算の使い道について地域ニーズを反映するというものです。学校のことや交通安全対策、防災資機材のことについては地域自治区予算ではなく担当課の予算でやりなさいとなると、元々の収入が決まっているので、結果として別の部署の予算をカットされることになる。この枠組みについては市と議会が大きな枠組みを決めている。それだけでは市民ニーズが反映されているかわからないので、小さな単位で考えて何に使ってほしいか提案してほしいということです。

共育を理念として地域の人がこれからの教育を考えるにあたり、提案してほしいということ。作手地域協議会では英語教育に力を注いでほしいということで自治区予算を教育予算に充てている。地域の人の考えに基づいて教育予算の使い道を考えていただいています。

【見直し事項】

○小学校校庭開放事業

ボールなどの遊具購入費を計上する。

○防災ピクニック事業

開催場所が市避難所であるのでワンタッチテント購入費を計上する。

○小学校及び中学校施設整備事業

情操教育のために学校施設で破損しているところを調査し、修繕費を計上する。

【前年度引継ぎ事項の検討】

(事務局)

29年度以降に地域計画を策定しようという引継ぎがあるので次回協議していただきたい。また、活動交付金事業の傾向では地域拠点整備が多いので自治区予算で補助メニューをつくるかを事務局から提案させていただきたい。

3 連絡事項

平成28年9月26（月）午後7時～

地域自治区予算事業計画の決定

地域自治区予算による教育予算

【閉会】

—